

7

未来を見え方 (河合雅司)

2021.2.15

1. 2040年の日本 (人口激減の時代)

総人口 126 万人 2021



111 万人 2040

高齢者

36 万人



39 万人

総人口の 35%

人手不足

20~64 69 万人



55 万人

Δ14 万人減少

2. コロナ (感染防止)

人と人との接点を減らす



口内マスクの着用

コロナ
人口減少後の社会を一定早く目途!!

3. 世界の収容能力の変化

未来社会を創産することよりも大切なこと

社会とマシナリの統合、環境

↓ 取組むべき長遠き目標

一定先に人口減少社会の実現へ

コロナ下から社会や経済を再建は

人口減少への対応を要素に入れている

4. 2020年代

人口の過半数が50才以上になる
出生率は激減期に入っている

団塊の世代が75才以上になる

次の20年 人口は約30%減少

現在を基礎に 未来を等しくすることは不可能

5. 戦略的

何を捨てる、何を残すか

6. 令和の時代

イオンのアマゾンが使えなくなる日

(1) 少子化は止まらない

(2) 日本最大の小売店もいつ破産か分からない

店舗数を増やし ^上 売高を伸ばす
というモデルから逆転した。

競争力向上は出来た

(3) コロナ下の 小売店舗の利用者も増える

(4) 大型ショッピングセンターは増える

(5) 124- 小売 流通業界の割合 小売 店舗

2008年 16.5%

2019年 42.5%

地方、高齢者の利用

7. Net 通販の限界

8. これからは通商に力を入れる

過去の成功体験を捨てる

9. 自衛隊を7割に減らす。

7割に減らすという計画

公共交通安全機関の補助金削減がある

10. 松本大の競争の激化

松本大は競争上の成功はたかたか

1/ IN-エビは、11の世帯
「ニエタ」から生み出る

少子化は、社会のサイズを縮小する

少子化はLQの排除である



社会が成長し続ける

差別の割合

総人口 100万人の NEC

12. マーケットの素直な見方

13. 30年下の変化

大企業は高成長を遂げる

新参者の加速

14. 少子化時代に合わせた社会政策

少子化の解消を促す政策

人口の減少を食い止める

少子化社会は持続可能な社会

15 未来を見る力

- (1) 少子高齢化、人口減少を前提として考える
社会にどのような影響があるのか
- (2) 過去の延長線上に未来を見ない
常識、成例を破り得る
- (3) 人口減少の影響を考える
いつまで
- (4) 外国人、AIという不確実要素に頼らない
外国人や高度技術は思いつくまででいい
- (5) 戦略的に必要な要素を特定
捨てる、残したものを活用する
- (6) 人手不足は、1月2ヶ月の減少と季節的
需要依存は行を詰める
- (7) 量と拡大と決別する
質の向上を優先する
- (8) 人口の多寡で勝負しない
小さくても競争力を目指す
- (9) 居住型と非居住型を区分する
- (10) 政府や自治体に必要に依存しない



第386号
(令和3年1月31日)

株式会社ハートランド総研 古典学習陶冶会 TEL 0120-313-506 FAX 0120-313-519
〒101-0032東京都千代田区岩本町1-2-13-3F

イオンやアマゾンが使えなくなる日 (河合雅司)

かつて、モータリゼーションの進展により、郊外へ、広い売り場と駐車場を設け業績を拡大した「家電量販店と紳士服店」が登場しました。そして、紳士服店の代表が青山商事でしたが、その青山商事が今月、現在の売り場の半分をコンビニへ貸し出す新たな戦略を発表しました。

そこで参考になるのが、「未来の年表」等で日本の人口減少社会を鋭く指摘している河合雅司氏の近著「未来を見る力」(PHP 新書)です。

その第1章:「令和の時代はどうなるかーイオンやアマゾンが使えなくなる日」、「日本最大の小売店はいつ消えるかわからない」で、次のように語っています。

- (1) 少子高齢化と人口減少によって、日本の社会はどのように変わっていくのか。繰り返すが、「未来を見る力」を養うには、日常の風景を疑うところから始めることである。たとえば「大規模ショッピングセンター」だ。
- (2) 大型ショッピングセンターの将来を垣間見る出来事が2019年9月に富山県で起こった。業界最大手のイオンの「イオンモール高岡」が増床オープンするにあたり、テナントとして入居している飲食店が新規のアルバイト店員を思うように集められなかったのだ。
- (3) (中略) ここで気づくべきは、リニューアルオープン早々にアルバイトが集めきれないというのは、地域内の働き手世代が減ってきているということである。働き手世代というのは、同時に消費者の中心層でもあるので、その層が薄くなってきているということは店舗を維持するのに最低限必要となる顧客数の獲得が今後困難になっていく、ということである。
- (4) すなわち、店舗数をどんどん増やしたり、売り場面積を拡大したりして売上高を増やしてきたモデルが転換点を迎えたということである。拡大路線を続けようと無理を重ねていこうとしても、店員はもとより肝心の顧客を確保・維持できなくなればうまくいかない。決して各テナントのアルバイト募集の苦労話などではなく、大型ショッピングセンターの在り様に発展する問題だと考えるべきなのだ。

そして河合雅司氏は、「全国の地方自治体の中には、地域おこしの一環として、雇用も創出する大型ショッピングセンターの誘致に一生懸命なところが少なくない。しかしながら、その進出は往々にして既存の地元商店街に壊滅的な打撃を与える。大型ショッピングセンターはいつまでも存続する公共インフラではない。人口減少社会においては、当たり前前の存在ではないことを認識しておく必要がある」と指摘しています。

井深大(ソニー創業者)は、「会社というものは、社屋こそ立派でもその実は大変不安定なもの。世の中の変化の速度と性格に、社内の皆が気をつかうカルチャーになっていないと攻めの姿勢は取れない。この不安さを我々は開発精神・開拓精神で支え、冷たい風の吹きすさぶ中で他社よりも一歩でも二歩でも早く前進し、そして思い切った投資をしてきたのだ。食うか食われるか、生きるか死ぬかの競争の場に直面しているのだということを知ってほしい」(豊島文雄「井深大の箴言」ごま書房新社)と語っています。

バブル経済が崩壊し30年が経過したのに、いまだ、バブルの饗宴を続けている「政や官」には決して頼らず、井深大の言う「開発精神・開拓精神」を持ち続けることです。

人びとを導く歴史

Excel での時系列分析

2021.2.15
2021.2.8

1. 時系列データ

時刻 (時、日、週、月、年) とともに変化するデータ

2. 予測は適当なアルゴリズムと正確に不可欠な行為である

予測する将来の時点は 内挿ではなく 外挿 である

3. 予測問題

(1) 数値予測

10月は、110%は何個売れるか

(2) 判別予測

OKかXかの判定, 合格、有無

マーケティング

多変量解析

(3) 最適予測

適切な組合せの予測

X 数値予測

(1) XY 関連法

$$y = a + bx \quad (\text{回帰分析})$$

(2) Y 単独法

$y_1, y_2, \dots, y_t$ があり y_{t+1} を y_t から予測する

5. 预测手法

最近予測法を学ぶ

6. 時系列データの4つの基本パターン (変動要因)

(1) 傾向変動 (Trend) トレンド

(2) 循環変動 (Cycle) サイクル
周期的変動

(3) 季節変動 (Seasonal)

(4) 不規則変動 (Irregular) ノイズ

突然の出来事による変動
連続的な偶然変動

7 時系列分析

時系列の経過、傾向、変動、記述したデータ

傾向変動、循環変動、季節変動、不規則変動の4つの変動要因の組合

8. 時系列分析

合意により構成されている

過去の傾向を分析し、今後の予測に活用すること

長期の増加や減少、季節変動の傾向

原型となる時系列データ + 将来の推定

傾向の組み合わせ、特徴の検出

9. 時系列データの組み合わせモデル

(1) 加法モデル

$$T + C + S + I$$

4つの変動要因の和

(2) 乗法モデル

$$T \times C \times S \times I$$

10. 季節調整

移動平均法による季節調整

11. 12ヶ月中心化移動平均

(1) 2014.1 ~ 12の移動平均を求めらる

(2) 2015.1 ~ 12の移動平均を求めらる

(3) 2015.5と2015.6の平均を求めらる

13. 単回帰分析

x と y の 2 つの変数間にある関係式 $\rightarrow$ 1次式

$$y = a + bx$$

x と y を説明する
=
説明変数 x の割合

a (y の切片) $\rightarrow$ 最小二乗法で求める

b (傾き) $\rightarrow$ $\therefore$

13. 誤差

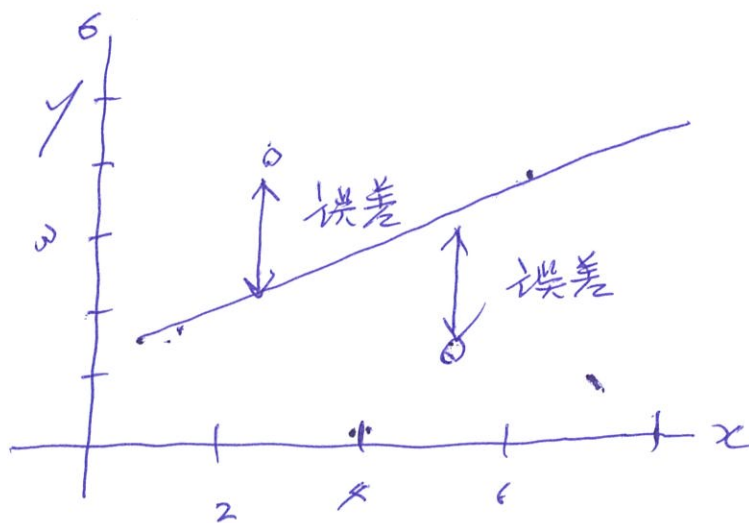
$$y = a + bx + \text{誤差}$$

$$b = \frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2}$$

$$\bar{x} = \sum_{i=1}^n \frac{x_i}{n} = (x \text{ の平均})$$

$$\bar{y} = \sum_{i=1}^n \frac{y_i}{n} \quad (y \text{ の平均})$$

14. $y = 0.473x + 1.2027$



15. 相関係数

ある量とある量との線形な関係
関係の強さを示す

$$r = \frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sqrt{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2} \sqrt{\sum_{i=1}^n (y_i - \bar{y})^2}} = \text{相関係数}$$

r は、常に -1 と 1 の間にある

正の相関 . x, y ともに増加する

負の相関 x が増加、 y が減少

図 777 に $r=2$ 乗値を表示する

16 简便的检验方法

$$r^2 > \frac{k}{n - k + 2}$$

... 相關のありと判定する

17. 対数近似

x と y の説明変数式は

$$y = a + b \log(x) \text{ の式を利用する}$$

18. 変数変換

$$\log_e \rightarrow LN$$

$$\log(x) \rightarrow x'$$

$$\sqrt{x} \rightarrow x''$$

19. ax^b 乗近似

$$y = ax^b$$

$$\log(y) = \log(a) + b \log(x)$$

$$y' = \log(y), a' = \log(a), x' = \log(x) \text{ とする}$$

$$y' = a' + bx'$$

ハッセル近似

$$y = a \cdot x^b$$

$$\log(y) = \log(a) + b \log(x)$$

<u>x</u>	<u>y</u>	<u>$\log(x)$</u>	<u>$\log(y)$</u>
1	15.775	0	9.666182
(2)	18.090	0.693147	9.803115
3	19.885	1.098612	9.846123
4	19.857	1.386294	9.826312
5	19.991	1.609438	9.903038
6	20.563	1.791759	9.927839

$$\ln 2 = 0.693147$$

$$\ln 18090 = 9.803115$$

$$y = a \cdot x^b$$

$$\downarrow$$

$$\log(y) = \log(a) + b \log(x)$$

$$\therefore y' = \log(y), \quad a' = \log(a), \quad x' = \log(x) \quad \text{と} \quad (17)$$

$$y' = a' + b x'$$

Excel 散布図より単回帰式を求めると、

$$y' = \underbrace{9.6767}_{a'} + \underbrace{0.1508}_{b} x'$$

$$a = e^{9.6767} = 15942 \quad \text{と推定}$$

$$y = 15942 \times x^{0.1508} \quad \text{と}$$

べき乗近似の近似式が得られた

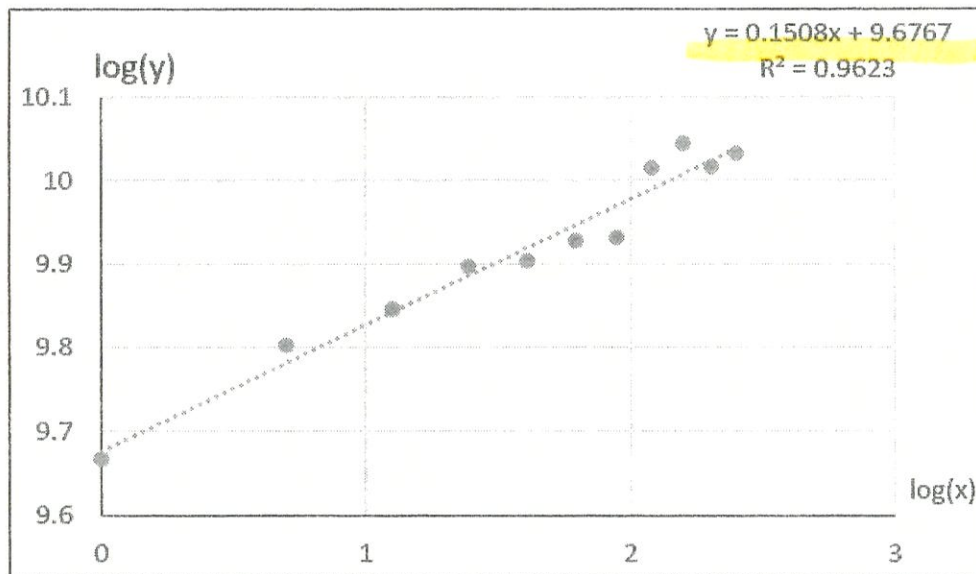
図 2.12 $\log(x)$ と $\log(y)$ の散布図

図 2.12 より、 R^2 値（相関係数の二乗の値 r^2 ）が 0.9623 と 1 に近い値になっていることから、この近似がよい近似になっているといえます。

経過年と利用者数の散布図を描いてみると（図 2.13）、データがべき乗近似（累乗近似）の線によく沿っていることがわかります。

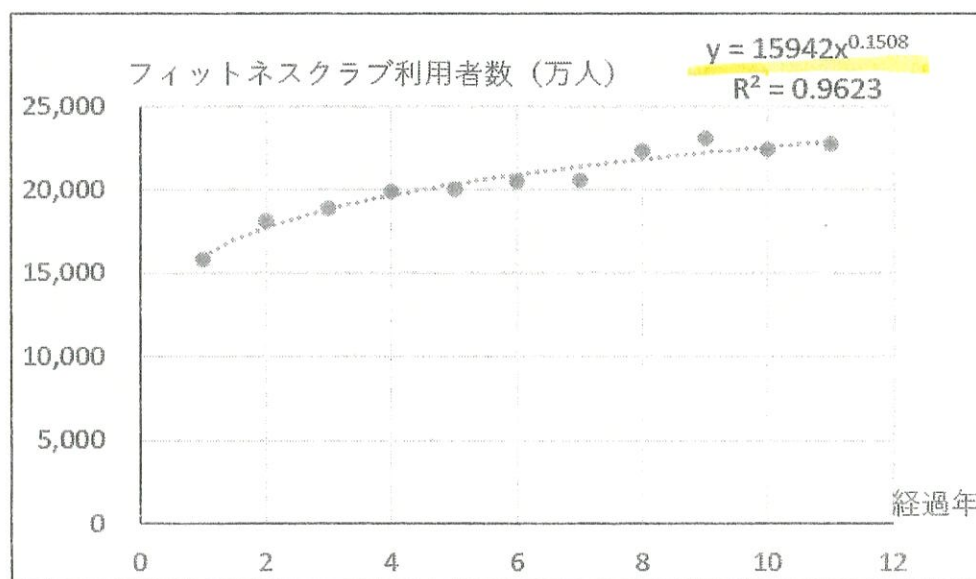


図 2.13 経過年と利用者数の散布図

Excel で学ぶ時系列分析
上田 太一郎 監修 近藤 宏 編著
オーム社

20. 指数近似

$$y = a \cdot e^{bx}$$

$$\log(y) = \log(a) + bx$$

$$y' = \log(y), \quad a' = \log(a) \text{ として}$$

$$y' = a' + bx$$

このように式変形して、 x と y' のデータを用いて、
最小二乗法で a, b を求め、
指数近似を実現する

21 重回帰分析

$$y = a + b_1x_1 + b_2x_2 + \dots + b_kx_k$$

y を説明する変数 x が 2 個以上ある時

a を切片, b_i を回帰係数という

22 最適回帰式

複数の説明変数の中から示される「最適回帰式」

p-値 危険率と比較した統計学的確率
説明変数の役立つほど小さい値を示す

p-値の最大となる説明変数を、順に減らして

いき、最終的に説明変数が 1 つにたどり着く
繰り返し回帰分析を実行する

行動経済学

2021.02.15

1. 実験を用いた観察と人間的行動

基に構築された経済学

ホセ-エリミダ前提とする経済学を非理性性を克服する

ホセ-エリミダ前提

行動経済学

人間は必ずしも

合理的には行動しない
というのを否定

合理的、利己的な人間

金銭的利益を最重視

合理的人間

不安の多い場合には 採り上げ

神を信じるとする時に行

者はそれによって 売上げ上がる

笑顔がすむと解決する

正しい行動をすれば 遅い時

人間の行動を観察する

これは 社会現象や

経済行動を 与える

新しい経済学

土地騰貴、合理的な行動

ハフマン 経済行動の理由

群衆心理

革命

不合理な行動に関する規律

2. 人間の不合理な行動に一定の法則性を見出す

人間の癖や傾向を明らかにする

3. プロスペクト理論

不確実性の高い状況では、人の行動は

直近の行動に影響されやすい
経験

4. 心理会計

コンピュータでいかにお金に対して、

思いつきに入れたお金は安易に浪費する

年金受給、変動する株価、非自発的失業

5. 人間は、不確実性のある状況下では

非合理的行動を^{より}取_入得る

暴動、パニック、浪費、

行动经济学

不合理的行为

行动经济学

Behavioral Economics

16000 ——— 15000

人肉

- 利得 — $\frac{1}{2} / \frac{2}{4} \frac{1}{5}$
合規 15
- 求情 —
2/2/6 215

ク、
天^キで押かあかす
天^キで人の気分^{キブン}をさました

$$P(z) - \underline{(154 \text{ 外})}$$

サングラスの目覚

8. 平均と ~~限~~ 限り
り。

加算 と 限り
減

ナッジ Nudge

実践行動経済学

禁煙の例

レタスの例

朱印 → の例

松沢 鋼吉と 英語

只、やってみると予想と違った
やり方と結果と実語

確実な効果

行方によって得る効果

10. 案ずるよりもやるが易い

案ずるよりもやるが易い

実際にやると案ずるよりも易い

You never know till you try

The work was easier than I had thought

11. 最後に同じ情報かには残る

クラス効果

12. 大数の法則

母集団から平均に帰する

13. 小数の法則

母数が少ないと事象に依存する
から長期に調査すると大数の法則に近
平均に帰する

14. 112-効果

高なる著名な会社に得る人を
生産力と判断する

15. 検証に基いた価値の評価を変える

即ち、損益の評価は相対的に決まる

16. 人は損益基準に基いた価値を

評価判断に基いて損益を評価する

与えられた材料に基いた価値は損益基準に

基いた価値よりも異なる

不協和性も変化を遂げる

17. 走 トロフィーを5人分の人々

競争を変化させる人々

5人は優勝

1人は最下

18. 将余所得元、目の上の縁を削り

自以得在松金

若得以得在下邊

7월 12일 목요일 10월 12일 일요일

19、 柳岸花前 松、竹、梅心 竹在壁间
何故？

何故？

20 打席 2割5合の1007-1古 治の打席も
ヒ外を打った。

偶然の出来事にも対応して、この順序で
見出し附けよう。

しかし、大数の法則 (大数性) に従う =

2/ 平均への回帰

長い目で見ると平均値に戻る

大数の法則



⑦

何故仏教が流行したか

(今、必要なのは、平和の哲学の流行)

(2月のごあいさつ)

2019年2月1日(金)

約5年前から読み始めた史記、三国志に続いて、十八史略を読んでいる。

当時の中国語は、現在とは別の言葉のように難しく、解説書頼りである。中国語の先生から、山内さんの古典中国語は、国際通りでは通用しないね、などと言われ乍ら興味を持って続けている。

それというのも、歴史が面白い。中国の後漢末から隋初の時代、年代で言うと、2世紀から6世紀の頃は人々は喜怒哀楽と欲望を正直に表現している。

特に五胡十六国の時代、150年に満たないその時代の存亡は激しく、政治的にも人道的にも道德というものを忘れたような状態で19の王国が興亡した。その時期、西域を経て中国へ伝来した**仏教**が、**飛躍的發展**を遂げた。

天才的な仏典翻訳者の鳩摩羅什(クマラジュウ)、**第二の釈迦**とまで言われ、仏教思想を整理、体系化した**天台智顗**などの傑出した名僧が輩出した。朝鮮半島の百済を経て**聖徳太子の時代**の日本へも伝わり、特にお釈迦様が死の前に説かれたという**法華経**は広く読まれるようになった。

お釈迦様の言葉、“この世で悟りを開き自らの幸福を築き、利他のために奉仕する姿を目指すべきである。苦行ではない、煩惱を去ることだ”という教えが、戦乱の時代に一大流行したのは人々の心に希望を与えたからであろう。

去年の8月、ふとしたことで知り合った創価学会の安田進副会長に、恩納村にある創価学会研修道場を案内していただいた。

そこは、かつての米軍「核ミサイルメースB基地」81,000㎡の跡地である。敷地内に取り壊されずに残る“ミサイル発射台8基”は、当時の池田名誉会長の提案で、1977年6体のブロンズ像が建つ「世界平和の碑」へと生まれ変わった。同様の発射台は、読谷村、勝連町、金武町にも各8基が設置され、**そのミサイル一基**は、広島原子爆弾の30倍ともいわれる破壊力があつたという。当時、文化大革命の最中にあつた北京をはじめとする**中国等の主要都市**に向けられ、ボタン一つで発射が可能とのことであつた。

現代は、中国の五胡十六時代ほどの混乱の時代ではないかもしれない。

しかし、核保有国のうち一国だけの核で**全地球を滅亡させる力**があるという。この時代にこそ**自他の存続と幸福を願う心**が必要であり、人類の滅亡を救う**平和という言葉**がかつてないほどの重要性を持って語られるべき時代である。

常不轻菩萨 才二十

尔时有一菩萨比丘、名常不轻。以何因缘、名常不轻。

是比丘、凡有所见、比丘等皆悉礼拜、讚歎、而作是言。

「我深敬汝等。不敢轻慢。所以者何、汝等皆行菩萨道、
当作佛。」

而是比丘、不事诵经、但行礼拜。乃至远行、回聚、
亦复敬往、礼拜讚歎。而作是言、我不敢轻於汝等、
汝等皆当作佛故。

四衆之中、有生瞋恚、心不净者。恶口骂詈言、

「是愚蠢比丘、从何所来。自言我轻汝、而兴我等授记、
当作佛。我等不用、如是虚妄授记、如此经历年。」

常被骂詈、不生瞋恚、常作是言。「汝当作佛。」

~~今天我看，如来寿量品才十六。~~

好“如是我闻”，这个词很好，我想。

孝才，孝到无法法的时候，~~表示~~一是客观，
一时光观，我觉得。

对
对佛仲
) 释迦牟尼说，这些都很大的牺牲，我相 信。

才一、直视 现实，现实的世界

才二、保持 心里的平静，放弃自己的欲望

才三、想，信心，^{世上}却平等

才四、一心、只顾 追求、实践、求是实事

才五、法是世界一般的真理，
中心是

才六、诸行无常，万物变化

才七、正见、正思、正语，正业

才八、色、受、想、行、识，五蕴是主体

才九、眼、耳、鼻、舌、身、意

才十、缘起，万事有因别均

才十一、无限的心

釈迦の教え

1. 現象の直視
2. 心の平靜 (執着を捨てる)
3. 一切の平等
4. 正法から実践 (議論の優劣を争わない)
5. 普遍的な法を中心 (可能な限り)
6. 諸業無情
7. 正見、正思、正語、正業
8. 色、受、想、行、識の五蘊
9. 眼、耳、鼻、舌、身、意
10. 縁起 (すべては他との関係にある)
11. 限りない安心

三枝充恵

ジエフ(シン)

トインビー 歴史の研究③

(181~232)

項 目	内 容	備 考
第三篇 文明の成長 第 2 章 文明の成長の性質 (181-	1. 最適の挑戦とは 最も大きな刺激を与える挑戦とは、きびしさの過剰ときびしさの不足の中間の程度の挑戦である。不十分な挑戦は、挑戦された人間を全然刺激しないおそれがあるし、反対に過度の挑戦はすっかり士気をくじいてしまうおそれがある。しかし、スパルタ人などの挑戦のはなれわざは、それを行った者に、<u>発展の停止という致命的な罰を課することもある。</u> 真の最適の挑戦とは、挑戦された人間に、ただ一度のうまく成功する応戦をさせるだけでなく、さらに一步進むように刺激する挑戦、一つの事業の達成から、また新たな努力へと前進する挑戦である。<u>それは、地理的拡大が質の低下を示しはじめた 5 世紀までのヘレニック社会の拡大のように。</u>	
第 3 章 成長の分析 (198-	1. 創造的個人 創造的な少数者が前進し、非創造的な多数者をそれに従わせる。或いは、慣習の殻を破り、創造的少数者を模倣する。	
第 4 章 成長による文化 (211-	2. 仏教の伝播 (1) 釈迦牟尼 BC566~486(BC462~383) (2) 鳩摩羅什 344~413(350~409) (3) 智顗 天台大師 538~597、<u>法華主義</u>	

項 目

内 容

備 考

- (4) 聖徳太子 574～622、三経義疏、仏教興隆
- (5) 最澄 767～822、伝教大師、顕詮、奈良七大寺と京都の対立
- (6) 桓武天皇 737～806、794 平安遷都
- (7) 空海 774～835、弘法大師

(無量義経)

釈尊最後の説法、すべての教えはただ一つの真理、無量義にある。

無量義(数限りない教え)－無相、実相－世界は一切が平等、虚空－諸行無常－変化の中の一切の本質を見る－生・住・異・滅－自利利他

3. 真理と価値

「価値」とは、対象と我との関係を表現したものの、主観である。

「真理」とは、有りのままの実在を表現したものの、客観である。

価値は、対象と人生との情的関係性であり、真理とは対象の概念であり、全くその性質を異にする。

価値は、人生に質的に関係するものであり、真理は、あるがまま量的なものである。

価値は人が創造するものであり、真理は、真が偽であり創造することはできない。

有益性は、創造であり、価値である。

客・利

真・善・美という系列は、真という客観と善美という価値の無関係な並列であり、利・善・美の系列が正しい。

価値

真理は不変、価値は可変

教師の質が教育を左右する－価値

(創価教育学体系 牧口常三郎著)

トインビー 歴史の研究④

(233~311)

項 目	内 容	備 考
第四篇 文明の衰退 第 4 章 <u>自己決定の能力の減退</u> (233-	1. 衰退の原因 (1)神のしわざではなく、 (2)意味のない自然の法則のくり返しでもなく、 (3)環境を支配する力の喪失のせいでもなく、 (4)工業技術の退化や外敵のせいでもない それは文明の自殺である。 2. 有機体の機能 自然は有機体の機能の 90%ぐらいを、自動的に最小のエネルギー消費で行われるようにしている。 ここに破局の危険が潜んでいる。 「慣習の殻」で安定していた社会が、向きを変えて創造的リーダーに引きいられていくとき、成長する社会は危険に直面しなければならない。 3. 古い皮袋に入れた新しいぶどう酒 (徳行品第一) お釈迦さまが、霊鷲山で説教されるとき、そのまわりには多くの出家修行者、菩薩に、空の鳥や妖怪、地の動物や鬼神、海底に住む魚や鬼たちも加わり、大王や諸国の王や女王、その家来などが整然と控えておりました。 お釈迦さまは、すべてのものに上下はなく、この世はすべての広さと高さには限りはなく、どこまでも澄みきっており、一切の差別はないと話された。また、仏というのは、善行を積み、慈悲の心を持ち、智慧、解脱、知見などの修行の結果であり、仏も衆生の一人として法華経の善行を積んだ結果である。 仏の命、人の命は、有るとか無いとかで図れない。何かの因となったり縁となることもなく、自他の区別もない。 四角いとか丸いとか、短いとか長いかで考えるものではない。 出るとか隠れるとか、生ずるとか滅するものでも	
(237-		

項 目

内 容

備 考

なく、坐っているでも、臥しているでも、行くでも住まるものでもない。

動いているとか、転がるとか、じっとしているものでもない。

進んだり引いたり、安全であるとか危険であるといった見方では考えられない。

これは、得になるとか損失になるとか、そのような計算ではない。

あれはこう、これはああという区別はなく、あちらに行くでもこちらに来るでもない。

青でもなく、黄でもなく、赤いでもなく、白でもない、それは色で現わしようがない。

それは自分の、人の、世界の生命であり、すべての幸福を求めることが根本である。

(説法品第二)

仏の説かれる“法”は一つ、根本原理はただひとつその一つの法から無量の（数かぎりない）法が生まれる。

世尊は問われて、答えられました。

よろしい、いい時に訊いてくれました。いま、訊かないとその機会はないのです。わたしはもうすぐこの世を去ろうとしているのですから・・・。

世の中のことは、上、下もない。平等で透きとおっている。そして、無常で変化してやまない。その中で一切のものごとの実相を見極める修行をすることが大切である。

先ず、その世界を見つめる、どんな世界かを正しく見極める。

(1)それから、そこに生ずるものを発見する

(2)生じたものが安定することを見つめる

生じたものは変化しないかどうか見つめる

(3)変化したらそれを見つめる

(4)変化が滅になることを見つめる

これらを冷静に見通さねばならない。同時にその善悪も知らねばならない。

世の中は、変化して一刻も止まず、その(生)(住)(異)(滅)という変化を見てとらねばならない。その中から無量の教えが明らかになる。

(十功德品第三)

法華經の教えを実行すれば、十の不思議な功德がある。

(1)大乘の教えを学び、自分の幸せ(自利)と人の幸せ(他利)を起こさせる

(2)この教えは、譬えれば心に一個の種子を植え、その成長を図るものである

(3)この教えとは、力の強い人が重い荷物をかついで遠い道を力強く行く観がある

(4)竜の子が生まれて7日も経たないのに、よく雲を起こし、雨を降らせることができるようである

(5)この教えを聞けば、どんな困難があっても進もうという強い心が起きる

(6)この教えを修得すれば、幼い、弱い身であっても自立した考えと行動ができる

(7)この教えは信ずれば、自他の間に差別を感じず現象の変化に迷うこともない

(8)この教えは、人に深い慈悲の心を生じさせ、人々を救うことができる。

(9)この教えに接すれば、人は魂の躍動を覚え、清らかな心となる。

(10)さまざまな信仰の結果と仏の道を悟ことができる。